

スルガ銀行

ミニディスクロージャー誌 2023

第212期営業のご報告

2022

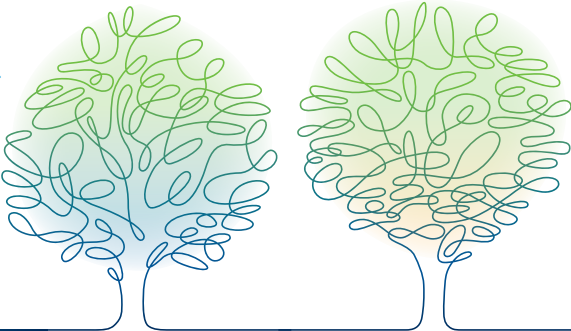
4/1 ▶

2023

3/31

あってよかった、
出会えてよかった、
と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、
お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、
お客さまの人生に寄り添い、
必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。



〈私たちの想い〉

私たちは、何よりもお客さまのことを考える銀行でありたい。

お客さまの声に真摯に耳を傾けて、スルガならではの付加価値を提供することで、
お客さまから「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在を目指します。
お客さまに心から満足していただくためには、
サービスを提供する社員がやりがいを感じていることが不可欠です。
お客さまからだけでなく、社員にとっても、「あってよかった、出会えてよかった。」と
思われる存在になりたい、という想いを込めています。

当社の概要 2023年4月30日現在

設立	1895年(明治28年)10月19日							
本店	静岡県沼津市通横町23番地							
店舗数	国 内 112							
	静岡県内	57	神奈川県内	35	東京都内	4	北海道内	1
	埼玉県内	1	千葉県内	1	愛知県内	1	大阪府内	1
	福岡県内	1	インターネット支店	10				
資本金	30,043百万円							

目次

ごあいさつ	2
営業の概況	3
CSR活動・トピックス	8
営業店舗網	9
株式についてのご案内	10

ごあいさつ

平素よりスルガ銀行グループをお引立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、皆さまのスルガ銀行グループに対するご理解を一層深めていただくため、「ミニディスクロージャー誌2023 第212期営業のご報告」を作成いたしました。

弊社では、本年4月からスタートした中期経営計画“Re:Start2025”第2フェーズに基づき、営業本部制から4つの自律型プロフィットセンターへ組織体制を変更するなど、「スルガ再成長軌道の本格始動」に向けた取組みを積極的に進めています。

この第2フェーズで掲げる経営戦略は、①リテール・ソリューション事業の進化 ②持続可能な収益構造の構築 ③リスクテイクとリスク分散 の3つです。また、ステークホルダーの皆さまと弊社の方向性を合わせていく取組みとして、配当や自己株式取得などの株主還元の基本方針を定め、人的資本の観点からは、人財育成投資額や役職者に占める女性社員比率などの目標設定、幹部社員への株式報酬制度を導入いたしました。更にESGの観点からは、本年4月にサステナビリティ推進委員会を設置し、SDGsの取組みを積極的に進めるとともに、より一層のコーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

なお、弊社は、本年5月に株式会社クレディセゾンとの資本業務提携契約を発表いたしました。両社はお互いにリテールビジネスに強みを持つ点が共通しており、今後、両社のリテールビジネスのノウハウを最大限活用し、銀行業態である弊社とノンバンク業態である株式会社クレディセゾンがシームレスに連携し、金融分野におけるあらゆる「困りごと」や「不」の問題に対してソリューションを提供する“Neo Finance Solution Company”を目指してまいります。

今後とも、弊社グループ一丸となって地域経済の持続的成長や豊かな社会の実現に向け、お客さまとの信頼関係をより一層深め、ステークホルダーの皆さまから『あってよかった、出会えてよかった』と思われる存在を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、引続きの温かいご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

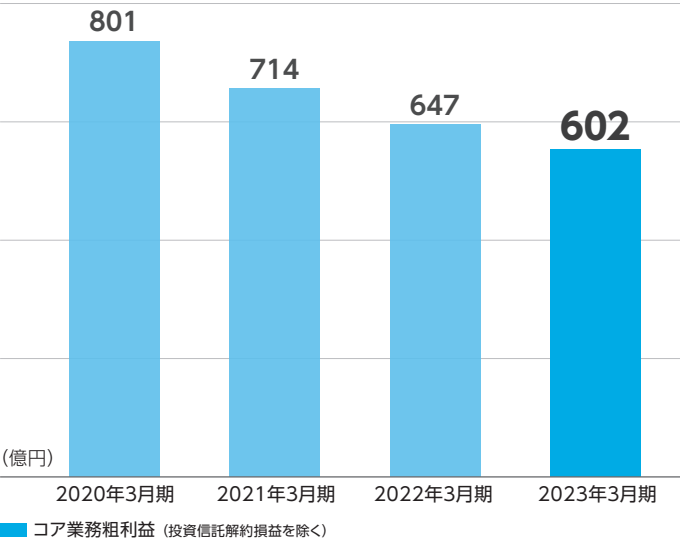
社長

加藤 広亮



営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。

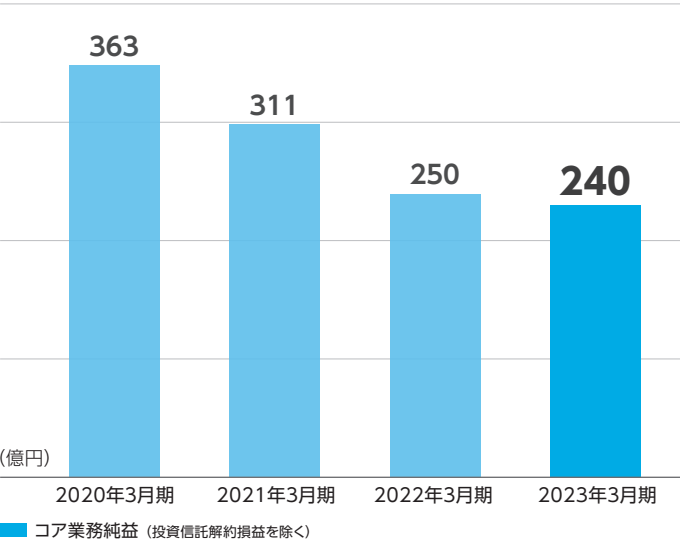


■コア業務粗利益 (投資信託解約損益を除く)

コア業務粗利益は、貸出金利息の減少を主な理由として、前期比45億円減少し、602億円となりましたが、中期経営計画第1フェーズに基づき営業活動を推進してきたことにより、減少幅は縮小しています。引続き、中期経営計画第2フェーズの方針のもと、営業活動を推進してまいります。

コア業務粗利益は、業務粗利益から国債等債券損益の影響を除いたもので、債券売買等の一時的な要因を除いた銀行の本業における粗利益を表しています。

$$\begin{aligned} \text{業務粗利益} &= \text{資金利益} + \text{役務等取引利益} + \text{その他業務利益} \\ \text{コア業務粗利益 (投資信託解約損益を除く)} &= \\ &\quad \text{業務粗利益 (投資信託解約損益を除く)} - \text{国債等債券損益} \end{aligned}$$

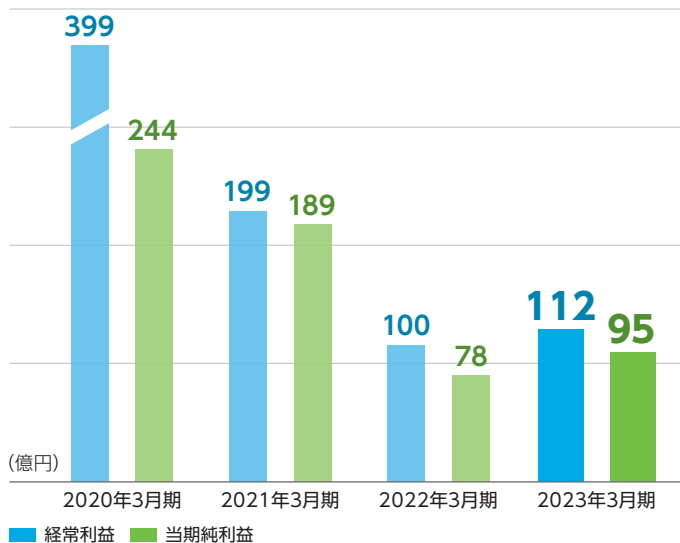


■コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)

コア業務純益は、コア業務粗利益の減少(上段記載)がありましたが、構造改革による経費削減が進んだため、前期比10億円減少となり、240億円となりました。

コア業務純益は、コア業務粗利益から経費を除いたもので、銀行の本業における収益力を表しています。

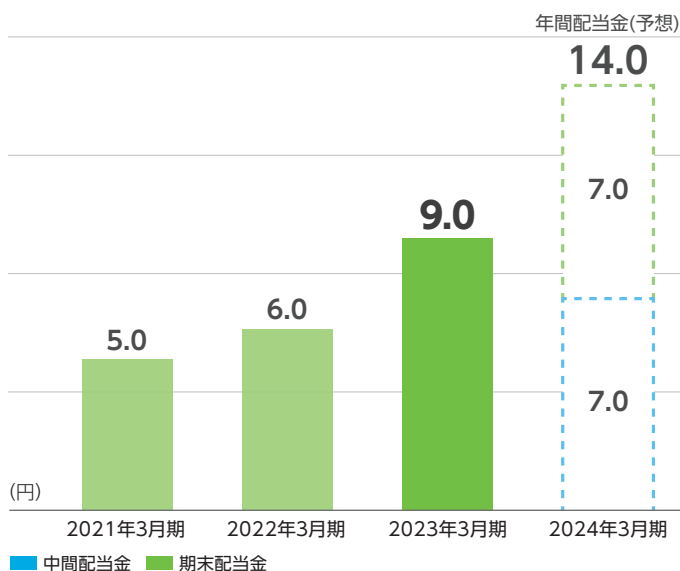
$$\begin{aligned} \text{コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)} &= \\ &\quad \text{コア業務粗利益 (投資信託解約損益を除く)} - \text{経費} \end{aligned}$$



■ 経常利益／当期純利益

経常利益は、コア業務純益の減少（前頁下段記載）がありましたが、実質与信費用の減少を主な理由として前期比11億円増加し、112億円となりました。

当期純利益は、経常利益の増加等により前期比16億円増加し、95億円となりました。

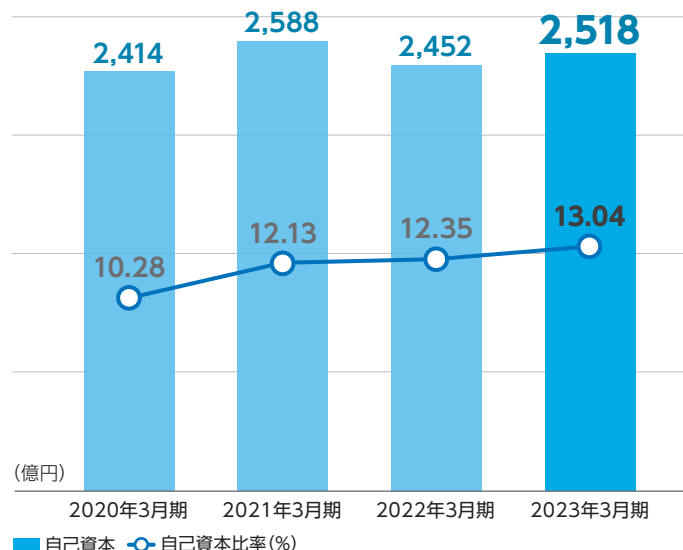


■ 一株当たり年間配当金

一株当たり年間配当金は、当期の業績動向や資本の健全性等を総合的に勘案した結果、期末配当を前期比3円増配の一株当たり9円といたしました。

なお、2024年3月期の年間配当金予想は、中期経営計画第2フェーズで公表した株主還元方針に基づき、5円増配し、一株当たり年間配当金14円としております。

営業の概況



■自己資本／自己資本比率（国内基準）

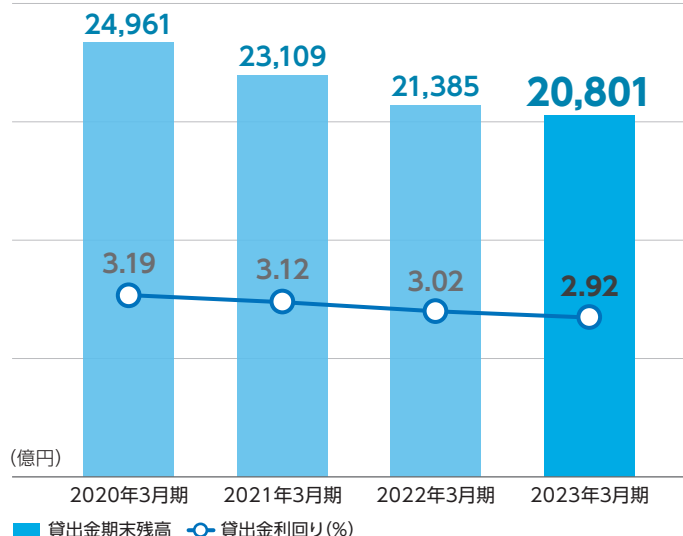
経営の健全性を示す自己資本比率は、前期比0.69%上昇し、13.04%となりました。

※中期経営計画第2フェーズのKPIとしました、バーゼルⅢ最終化ベースかつ有価証券評価差額金の評価損を控除した実質ベースの自己資本比率は11.39%です。

自己資本は〈コア資本に係る基礎項目〉から〈コア資本に係る調整項目〉を控除して算出しております。

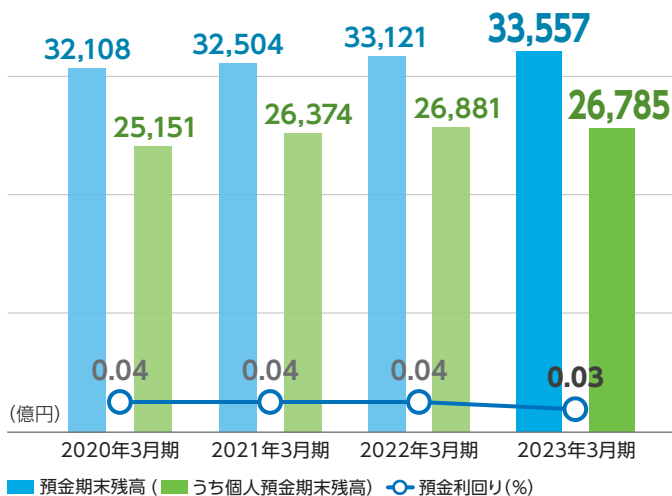
当社の〈コア資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と一般貸倒引当金により構成しております。

自己資本比率 = 自己資本額(コア資本に係る基礎項目 - コア資本に係る調整項目) / リスクアセット等 × 100



■貸出金期末残高／貸出金利回り

貸出金期末残高は、前期比584億円減少し、2兆801億円となりました。また、貸出金利回りは、前期比0.10%低下し、2.92%となりました。

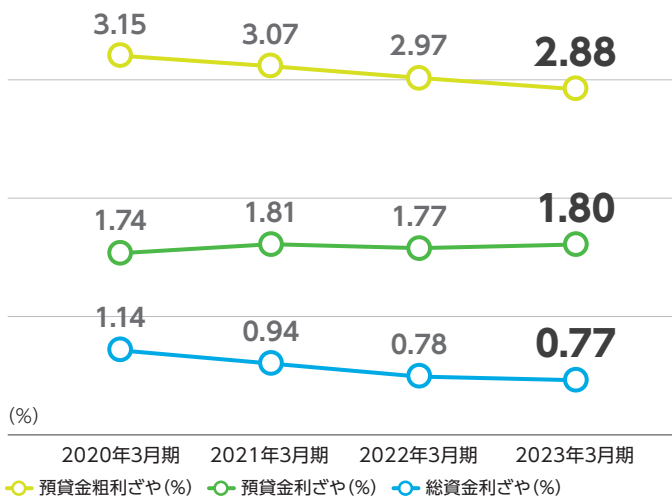


■ 預金期末残高／預金利回り

預金期末残高は、前期比435億円増加し、3兆3,557億円となりました。

個人預金期末残高は、前期比96億円減少し、2兆6,785億円となりました。

預金利回りは前期比0.01%低下し、0.03%となりました。



■ 預貸金粗利ざや／預貸金利ざや／総資金利ざや

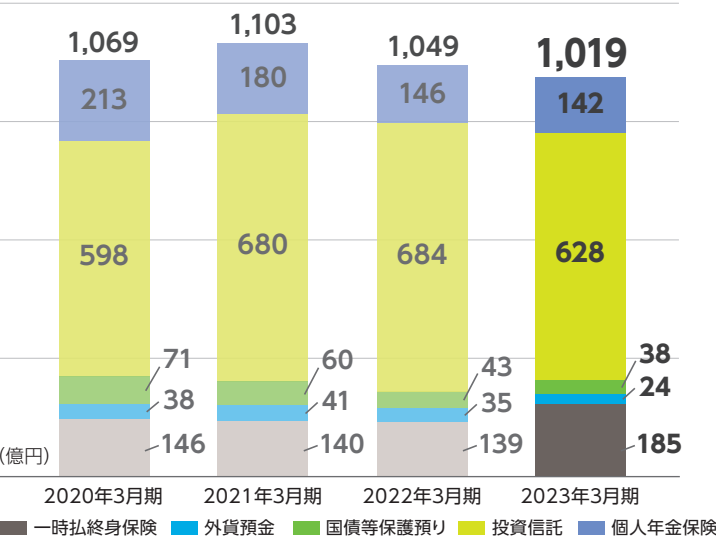
預貸金粗利ざやは、貸出金利回りにから預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。

預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。

総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。

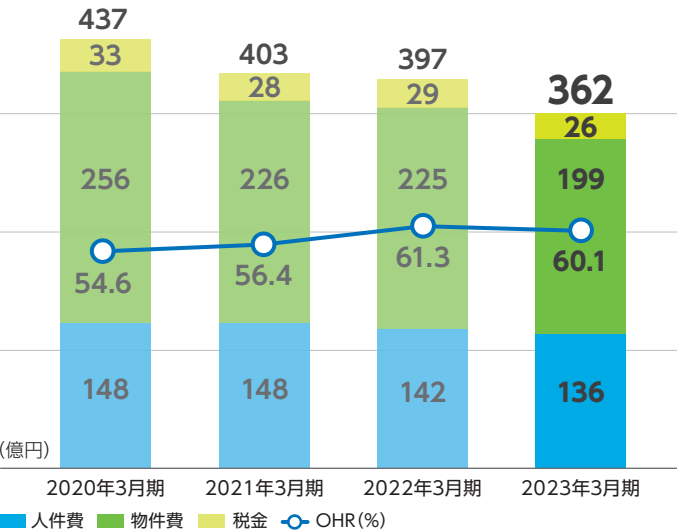
総資金利ざやは、資金運用利回りの低下を主な理由として、前期比0.01%縮小し、0.77%となりました。

営業の概況



■ 個人預り資産期末残高（投資性商品）

個人預り資産の期末残高は、前期比29億円減少し、1,019億円となりました。



■ 経費／OHR

（コア業務粗利益(投資信託解約損益を除く)ベース）

経費は、構造改革の進展により前期比35億円減少し、362億円となりました。

コア業務粗利益ベースのOHR（オーバーヘッドレシオ）は、前期比1.2%改善し60.1%となりました。

OHRは、業務の効率性を表しています。
当社では、国債等債券損益の影響を除いたコア業務粗利益ベースで実績を示しています。
OHR(オーバーヘッドレシオ(%)) =
$$\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益(投資信託解約損益を除く)}} \times 100$$

CSR活動・トピックス

中期経営計画第2フェーズの説明会を開催

今年度から始まる中期経営計画第2フェーズ(期間2023年度～2025年度)の説明会を機関投資家・アナリスト向けに開催し、プレゼンテーションの様子を当社のホームページに掲載いたしました。第2フェーズでは、「スルガ再成長軌道の本格始動」に向けた3つの経営戦略と5つの重点施策を着実に実行し、中期経営計画“Re:Start2025”で掲げるビジョンと企業理念の実現を目指してまいります。



詳細は以下でご覧いただけます。

中期経営計画



自転車振興による地域連携

スルガ銀行サイクリングプロジェクトは、地域の観光資源と連携したサイクルツーリズムの推進により、新たな観光価値の創造を目指すとともに、自転車の機動性を活かしたきめ細やかな観光情報の発信をすることで、地元のサービス業、観光業を支援しております。2022年度には、新たに8つの自治体や企業と「自転車振興に関するパートナーシップ協定」を締結いたしました。



Tour de SURUGA藤枝ステージ100km



南伊豆🌸ぼたりんぐ

詳細は以下でご覧いただけます。

スルガ銀行
サイクリング
プロジェクト



Web



Facebook



Twitter



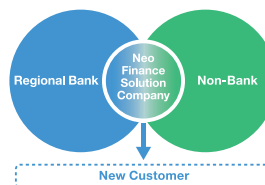
Instagram



note

株式会社クレディセゾンとの資本業務提携

2023年5月に株式会社クレディセゾンと資本業務提携を締結いたしました。両社の相互対等の精神に基づいた提携により、両社のリテールノウハウを最大限活用いたします。銀行業態である当社とノンバンク業態であるクレディセゾンがシームレスに連携することにより、金融分野におけるあらゆる「困りごと」や「不」(不安、不便、不満など)の問題に対してソリューションを提供する“Neo Finance Solution Company”を目指してまいります。



詳細は以下でご覧いただけます。

株式会社
クレディセゾンとの
資本業務提携

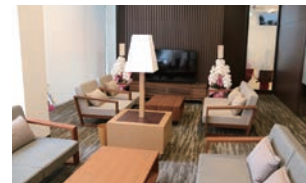


次世代型店舗、キャッシュレス店舗の導入

一般的な店舗にあるカウンターを極力省き、よりお客さまに寄り添ったご案内ができるレイアウトとする「次世代型店舗」を厚木支店、富士吉原支店、清水支店で導入しています。また、現金利用の機会が減少している社会環境の変化に合わせ、沼津駅支店を、窓口での現金業務を行わない新たな形態の「キャッシュレス店舗」に移行いたしました。



次世代型店舗(清水支店)



キャッシュレス店舗へ移行のお知らせ
(沼津駅支店)

営業店舗網(112か店)

(2023年4月30日現在)

●静岡県(57か店)	松崎支店	掛川支店	茅ヶ崎支店	名古屋支店
本店営業部	御殿場駅支店	袋井支店	茅ヶ崎鶴が台支店	大阪支店
沼津市役所出張所	御殿場西支店	磐田支店	浜見平支店	福岡支店
沼津駅支店	御殿場東支店	浜松支店	平塚支店	●インターネット支店(10か店)
沼津港支店	小山支店	浜松追分支店	厚木支店	ANA支店
沼津南支店	裾野支店	浜松北支店	厚木鳶尾支店	Tポイント支店
沼津セントラル支店	富士吉原支店	天竜支店	相模原支店	リクルート支店
沼津岡宮支店	富士支店	●神奈川県(35か店)	東林間支店	Dバンク支店
沼津青野支店	富士鷹岡支店	横浜支店	中央林間支店	ドリームダイレクト支店
沼津原町支店	富士宮支店	神奈川県庁出張所	海老名支店	ダイレクトワン支店
三島セントラル支店	清水支店	横浜東口支店	秦野支店	イービジネスダイレクト支店
三島支店	清水三保支店	横浜日吉支店	小田原支店	タウンネットワーク支店
長泉支店	清水高橋支店	横浜戸塚支店	小田原東支店	ハウジングローン支店
清水町支店	興津支店	横浜弥生台支店	大井松田支店	個人専用支店
徳倉支店	草薙支店	横浜若葉台支店	南足柄支店	
函南支店	静岡支店	横浜磯子支店	箱根支店	●銀行代理店舗網(1か店)
伊豆長岡支店	静岡県庁支店	横浜六ツ川支店	湯河原支店	ソニー銀行株式会社
修善寺支店	静岡南支店	横須賀支店	●東京都(4か店)	ローン営業部
中伊豆支店	静岡東支店	横須賀武山支店	東京支店	
熱海支店	焼津支店	久里浜支店	ANA支店 Financial Center	
熱海駅支店	岡部支店	三浦海岸支店	渋谷支店	
伊東支店	藤枝支店	藤沢支店	新宿支店	
伊東駅支店	島田支店	鎌倉支店	●広域店(6か店)	
伊豆稲取支店	金谷支店	湘南ライフタウン支店	札幌支店	
(2023年7月10日下田支店に統合予定)	榛原支店	湘南台支店	大宮出張所	
下田支店	相良支店	辻堂支店	千葉出張所	

ATMネットワークのご案内

セブン銀行ATM

セブン銀行ATM

E-net

イーネットATM

ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行ATM

イオン銀行

イオン銀行ATM

株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
そのほか、当社が定めた基準日

◇ 公告の方法

電子公告といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による
公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

◇ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

連絡先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎0120-707-843

特別口座での手続用紙のご請求をインターネットでも
受付いたしております。

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

◇ 単元株式数について

当社の単元株式数は、100株であります。

◇ お知らせ

- (1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、ご相続、その他諸手続について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (2) 配当金の受取について
配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ちください。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金の受取について
株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせください。
- (4) 単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (5) 特別口座から一般口座への振替申請手続について
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されている場合は不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行ってください。

詳しい内容、お問い合わせは

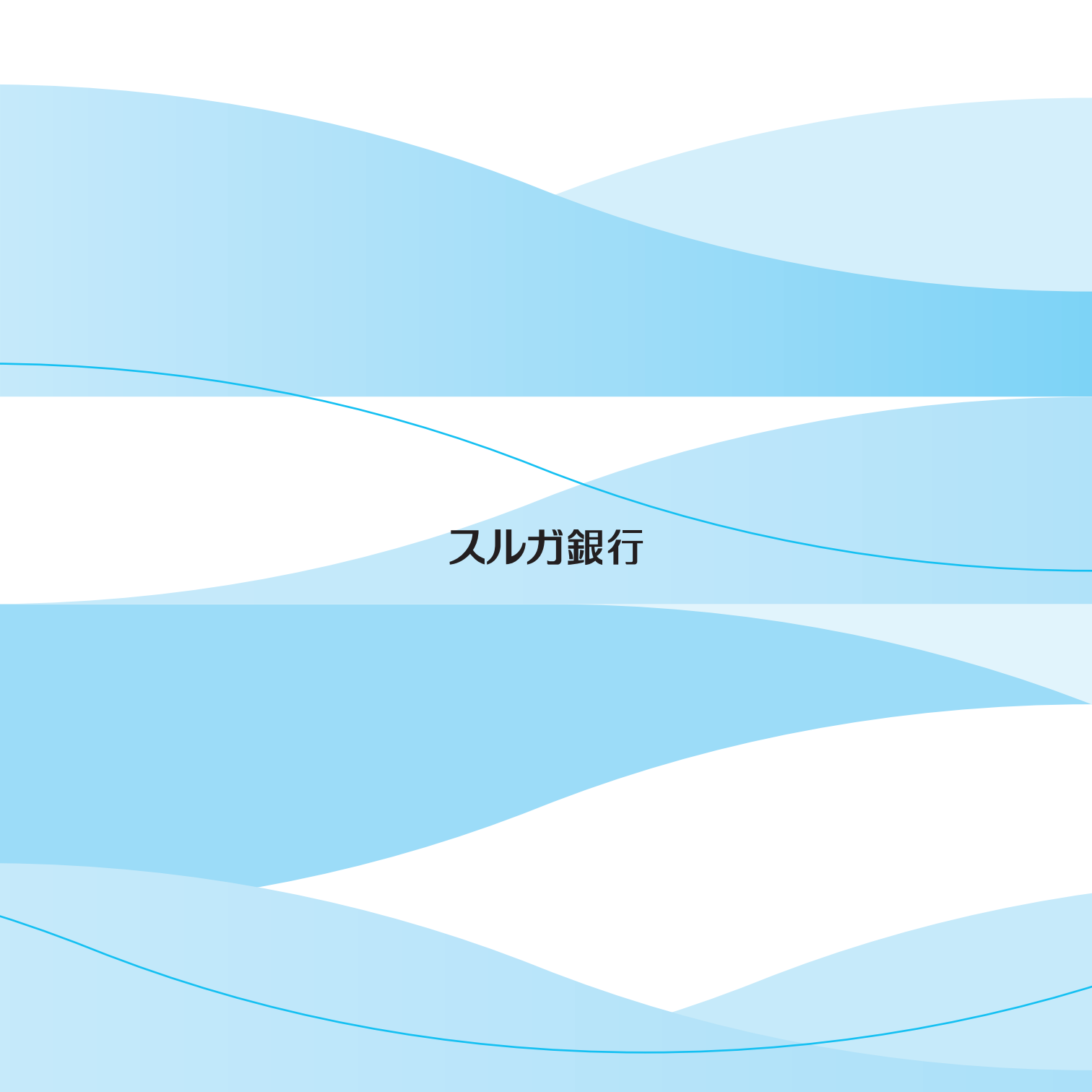
アクセスセンター ▶ ☎0120-50-8689 月～金曜日(祝日を除く)
9:00～17:00

ホームページ ▶ <https://www.surugabank.co.jp>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下の緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター ☎055-987-8182 24時間365日(有人受付) 同時に最寄りの警察にもお届けください。



スルガ銀行